

# マクロ学会通信

2010年 11月号 (Vol. 22 No. 237)

## お知らせ

### ■ 合同研究会 (文明システム、地球環境) 開催のお知らせ

日 時：11月27日(土)14:00~1  
議 題：「上海・南京などの報告」

谷本代表が、11月10日~13日の期間、上海宝山製鉄所火入れ25周年記念で上海・南京などを訪れます。その報告を伺います。

場 所：新日鉄代々木倶楽部 小研修室、  
(小田急参宮橋下車徒歩3分、  
JR代々木駅下車徒歩10分)

連絡先：谷本光生Tel/Fax：0438-30-1490、

### ■ JAMES研究会 (未利用資源利用、水資源、MEプロジェクト) 開催のお知らせ

日 時：平成22年11月18日(木)17:30~19:00  
話 題：水資源  
場 所：横浜ランドマークタワー25階、  
ビジネスサポートフロア2512会議室  
(JR桜木町駅より歩く歩道と徒歩で7分、地下鉄「みなとみらい線」の「みなとみらい駅」より徒歩5分)  
連絡先：北見辰男、Tel/Fax：045-742-8077、  
kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp  
角田晋也 kakutas@jamstec.go.jp  
木本研一 astec@fa.mbn.or.jp

### ■ ウォーターフロント研究会 代表 沼尻重男

○第3回アジア水の輪ネットワーク(協賛)  
~北九州・紫川~  
日 時：11月6日(土)~7日(日)  
(問合せ先：紫川を愛する会 森下 090-5285-1103)

○堀川開削400年・クリーン堀川10年記念事業(協賛)  
シンポジウム「都市河川の蘇生」、堀川クルーズ  
日 時：11月13日(土)~14日(日)  
クリーン堀川事務局(問合せ：足立利夫 T/F  
052-682-5008)

○第24回隅田川市民サミット(船上)一創立25周年記念一

日 時：11月23日(火・祝) 13:30~17:00  
集合場所：隅田川右岸 駒形橋南詰集合

○四万十町展(共催) 隅田川コーナー出展  
日 時：11月27日(土)~28日(日)10:00~18:00  
会 場：隅田公園リバーサイドギャラリー

○隅田川大学公開講座セミナー  
隅田川舟運の文化・産業について  
日 時：12月11日(土)15:00~18:00(予定)  
会 場：(未定)  
会 費：500円

イベント問合せ・申込先 糸井 守 TEL  
0422-45-0352 FAX0422-45-0353 携帯電  
話 080-5488-1236  
経営関連学会協議会 第3回シンポジウム(11月21日)

## <会員の皆様>

本マクロ学会通信は、次号12・1月合併号(Vol.22No.238)は、**2010年12月14日**発行予定です。次々号2月号2月1日予定です。

メールアドレスをお持ちで、事務局にメールアドレスを登録されていない会員の方は、是非事務局までお知らせください。(メールを使用されていない方には、これまで通り送付対応いたします。)

発行・編集 日本マクロエンジニアリング学会事務局  
〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14  
拓殖大学海外事情研究所  
吉野研究室(担当:齊藤)  
Tel/Fax 03-3947-2323  
E-mail:fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp  
URL :http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/  
本通信の他への無断転載を禁じます。

# マクロ学会だより

会員情報 角田理事より

海中海底工学に関係される皆様

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

米国の海洋関係の主要学会 IEEE Oceanic Engineering Society では、1975 年、海洋工学の分野において優れた業績を挙げた研究者を表彰することを目的として、IEEE Oceanic Engineering Society Distinguished Technical Achievement Award を設け、これまで多くの著名な海洋関連の研究者が受賞してきました。この度、AUV(Autonomous Underwater Vehicle)の開発とそのアプリケーション展開研究における優れた業績を認められ、東京大学生産技術研究所の浦環教授が日本人としてはじめて 2010 年度の同賞を受賞いたしました。受賞式は、米国 Seattle で 2010 年 9 月 20 日～23 日に開催された国際学会 Oceans2010 Seattle において行われましたが、日本においても、受賞を記念して、東京大学生産技術研究所海中工学国際研究センターおよび IEEE/OES Japan Chapter との共催にて、受賞記念特別講演会および祝賀懇談会を開催することになりました。詳しくは下記要領と同封プログラムをご参照ください。本記念講演会では、同賞の 1987 年受賞者であるカナダ ISE 社の Dr. James R. McFarlane 氏の招待講演、浦環教授の大演説、そして海洋関係の気鋭の研究者らによる座談会を予定しております。本講演会および懇談会にて、浦環教授の受賞を祝うとともに、来るべき日本の海中工学の Vision について、大いに語り合いたいと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

参加を希望される方は、11 月 12 日（金）までに、下記必要事項について、

[moma@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:moma@iis.u-tokyo.ac.jp)E-mail でご返信ください。当日の準備の都合がございますので、出席予定の方は必ず事前に登録して下さい。講演会のみあるいは記念懇談会のみのご参加も受け付けますので、双方の出欠情報について必ず記載ください。

懇談会に参加される方については、参加費については、会場運営を円滑におこなうために、事前に各自で最寄りの郵便局か下記銀行口座へお払い込みくださるよう、よろしくご協力ください。

本記念講演会には、できるだけ多くの方にご参加いただき、お祝いをするとともに、日本の海中工学の将来について検討したいと思います。お知合いの関連分野の方にもご紹介くだされば幸甚です。

なお、今回の講演会開催場所は、東京大学駒場教養キャンパス内数理科学研究科の大講義室となり、さらに、祝賀懇談会では渋谷へと場所を移動しますので、ご注意ください。皆様のご参加をお待ちしております！  
敬具

記

---

「四半世紀後の海中工学を問う」 IEEE/OES Distinguished Technical Achievement Award 2010  
浦環教授・受賞記念特別講演会

日時：2010 年 11 月 19 日（金）：

受賞記念講演会：12 時 30 分～17 時

同祝賀懇談会：18 時～20 時まで

場所：受賞記念講演会：東京大学数理科学研究科大講義室

〒153-8914 目黒区駒場 3-8-1（駒場第 1 キャンパス内） 電話 03-5465-7014

同祝賀懇談会：渋谷エクセルホテル東急 6F プラネットルーム

〒150-0043 渋谷区道玄坂 1-12-2（渋谷マークシティ内）電話 03-5457-0109

地 図：東京大学数理科学研究科大講義室 <http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/access/index.html> 参照

渋谷エクセルホテル東急 <http://www.shibuya-e.tokyuhotels.co.jp/ja/access/index.html> 参照

参加費：受賞記念講演会：無料

同祝賀懇談会：10,000 円

振込口座（原則事前振込）：三井住友銀行荻窪支店（362）

普通口座：0626735：四半世紀後の海中工学を問う 会計山口功

主 催：東京大学生産技術研究所海中工学国際研究センター、IEEE/OES Japan Chapter

協 賛：東京大学海洋アライアンス、海中海底工学フォーラム

---

■-----  
市民フォーラム「サステナビリティ水産科学の理論と実践～あなたがいるから、私も生きていける～」の開催(ご案内)  
-----

サケやイワシ、マグロといった水産資源を、世界の人々が未来ずっと食べていくには、どうしたらよいかを考えます。海洋生物が漁獲されてから食卓にあがるまでの間に、どのくらい環境へ影響を与えているのでしょうか？フード・マイレージ、エコラベル、食料トレーサビリティ、漁業と養殖などを話題にします。地球温暖化時代をむかえ、海洋生態系の保全と水産食料の持続的な確保が同時に可能となるように、学問と実践の両方を進める必要があります。「水産サステナビリティ」に関心を持つ学生、市民、企業、研究者の参加をお待ちしております。

◆日 時：平成22年11月9日(火)9:30～17:35

◆場 所：函館地域交流まちづくりセンター  
(北海道函館市末広町4番19号)

◆プログラム(予定)【敬称略】

9:30～9:35 挨拶 嵯峨直恒 研究院長(北海道大学大学院水産科学研究院)

9:35～9:50 はじめに「サステナって何?!」

帰山雅秀(日本学術会議特任連携会員、北海道大学大学院水産科学研究院)

9:50～10:50 基調講演1 ラシード・スメイラ教授

(ブリテッシュ・コロンビア大学水産学センター所長、カナダ)

「サステナな社会づくりー海とシーフードを守るために」

10:50～11:50 基調講演2 井田徹治(共同通信科学部)

「地球市民とサステイナブルな漁業ーサバがトロより高くなる日」

11:50～13:30 昼食

講演：サステナビリティ水産科学の実践

13:30～14:00 エンダイ・コンタラ博士(インドネシア養殖研究所所長)

「ASEAN 諸国のサステナな養殖が世界を救う」

14:00～14:30 永田光博(北海道立総合研究機構さけます内水面水産試験場 部長)

「サケのサステナのためのエコラベル MSC」

14:30～15:00 北田修一(東京海洋大学 教授、東京大学大学院アグリバイオイン

フォマティクス教育研究ユニット 特任教授)

「サステナな栽培漁業をめざしてー遺伝子で診る」

15:00～15:15 コーヒー・ブレイク

15:15～15:45 イ・ニヨマン・ラディアータ(北海道大学大学院水産科学研究院 学術研究員)

「サステナな養殖を宇宙から診る」

15:45～16:15 滝川裕弘(アクセプターテクノ株式会社 代表取締役)

「環境変化に負けない養殖技術の最前線ー熱伝導パイプ&オゾンの活用」

(函館産業・技術融合推進事業 技術講習会として)

16:15～16:45 石村学志(北海道大学サステナビリティ学教育研究センター助教)

「サステナな漁業への挑戦ー株市場からみる持続的漁業への道」

16:45～17:30 総合討論「グローバルなサステナ?!」

司会：齊藤誠一(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院水産科学研究院)

17:30～17:35 閉会の挨拶

齊藤誠一(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院水産科学研究院)

◆参加費：無料

【お問合せ先】

北海道大学大学院水産科学研究院 サステナビリティ・ウィーク2010 実行委員会

TEL:0138-40-5605E-mail:[salmon@fish.hokudai.ac.jp](mailto:salmon@fish.hokudai.ac.jp)

詳細については、以下のURLを御覧ください。<http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/events/2010/fisheries>

(日本学術会議HP) <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/104-s-2-1.pdf>

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局第二部担当 木田 Tel:03-3403-1091